
第2章 大学施設の特徴のある維持管理の取組事例

国立大学法人等において、目標として設定した施設水準を確保するためには、マネジメントの実施方針に基づき、施設運用計画及び施設修繕計画から構成される実効性のある施設管理計画を作成する必要があり、このためには、施設管理計画において必要な経費を明示することが重要です。

本調査を通じて、いくつかの大学から寄せられた維持管理に関する先進的な取組事例を紹介します。それぞれ大学の特色を踏まえ、施設マネジメントの推進の参考としてください。

(修繕計画の取組)

- ライフサイクルコストを配慮した修繕計画【九州工業大学】・・・23
 - ・ 大学全体、団地別、建物別に中長期修繕計画を策定
- ライフサイクルコストを配慮した修繕計画【九州大学】・・・24
 - ・ 長期の見通しに立った修繕計画に現地調査による短期修繕計画を反映
- ライフサイクルコストを配慮した修繕計画【名古屋工業大学】・・・25
 - ・ 施設を点検し、簡易診断の評価数値から中長期修繕計画を策定
- 現地調査等に基づく修繕計画【佐賀大学】・・・26
 - ・ 現地調査の判定による事業年次の優先度を考慮して計画
- 現地調査等に基づく修繕計画【帯広畜産大学】・・・27
 - ・ 構成部位別に修繕計画を策定し、事業の重要度毎の区分によって計画

(建物点検の取組)

- 部局等の建物点検・不具合報告【名古屋大学】・・・28
 - ・ 部局の職員等が施設を目視点検し、施設本部へ点検結果等を報告することで、施設本部と部局の連携により維持管理を実施

(情報管理の取組)

- 施設情報の活用「施設カルテプロジェクト」【徳島大学】・・・33
 - ・ 「施設カルテ」に各施設の基本情報・図面・改修履歴・管理状況等への情報検索が
出来、関連データを閲覧、印刷が可能